



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年9月10日
文責：校長 江上 知男



整備された「三角地」

正門前が整備されました！

小坂小学校正門の対面にある「三角形の土地」が、このたび整地及び舗装作業が行われ、なみきが丘団地方向から登下校する子どもたちが整備地を通って横断歩道を渡ることができるようになりました。このことで、通学路の危険箇所を1つ解消することができました。整備ができたことについては、地権者や町担当課を始め多くの方にお世話になったと聞いています。心から感謝します(子どもたちも喜んでます！)。

また、整備地から正門に向けて横断歩道を渡る際、道路の形状(緩やかなカーブ)により、見通しが悪い状況にありますので、子どもたちを含む歩行者がモンパリ側から来る自動車を確認したり、自動車から歩行者の存在を確認したりできるよう、町にカーブミラー設置をお願いしています。予算の都合上「すぐに」とはいきませんが、検討していただけるそうです。この点も感謝です。

ところで、安全な登下校については、学校としても神経を使っているところです。6月には、他県において「児童の列にトラックが突っ込む」事故が起こり、小坂校区と状況が酷似していることから決して「他人事」とは思えませんでした。毎朝地域の方に実施していただいている「登校見守り支援」に加え、より安全な通学路の実現を目指して、町教育委員会等の関係機関としっかり連携していきたいと思ひます。ご理解とご協力をお願いします。

学校を支えてくださる「3人の先輩!？」

9月8日(水)、町教育委員会から3人の指導主事(適切な学校教育活動のために、私たち学校職員に助言・指導をする役割)が来校し、授業参観や管理職との意見交換を行いました。このお三方…、教員としての「大先輩」で、常に温かい目で本校の子どもたちや先生たちのことを見てくださっています。



授業参観(1年)

当日も、子どもたちの学習の様子を見て回りながら、「学ぶ姿勢が素晴らしい!」「あいさつが身についている!」「先生たちが生き生きしている!」等々本校の良さを評価していただきました。もちろん、「効果的な図書館運営」など課題も的確に教えてもらい、子どもたちの学力及び生活力の向上を目指して、今後の学校運営にしっかり活かしたいところです。

学校の運営を教職員だけで担う時代は、とうに終わっています。学校・家庭・地域がしっかり手を結び、3人の先輩方を含む教育委員会や福祉・健康などの関係部局と連携し、「チーム小坂小」として子どもたちの将来を見据えた教育活動に取り組む必要があると考えています。

運動会の実施について

10月2日(土)に予定しております運動会について、9月9日(木)のPTA役・委員会で協議されました。学校及びPTA役員からの主な提案は次の2点でした。

- ① **10月2日(土) 予定の運動会を、期日を変更せず実施したい。**
- ② **運動会の実施方法を、県リスクレベルによって決定したい。**

出席した各委員からは、運営者の1人として検討いただいたうえで承認いただきました。本日(10日)付けで、役・委員会の資料を添付した保護者の皆様への案内を配付いたします。必ずご一読ください。

ところで、今年も入場は「保護者」に制限させていただくことから、ご親族や地域の皆さんには運動会を参観していただけません。心からお詫びいたします。コロナ禍終息後にお待ちしています。